

# 第4回県立高等学校改革懇談会 (白河実業・塙工業・修明)

日時：令和2年11月25日（水）

13:00～14:30

場所：白河実業高等学校

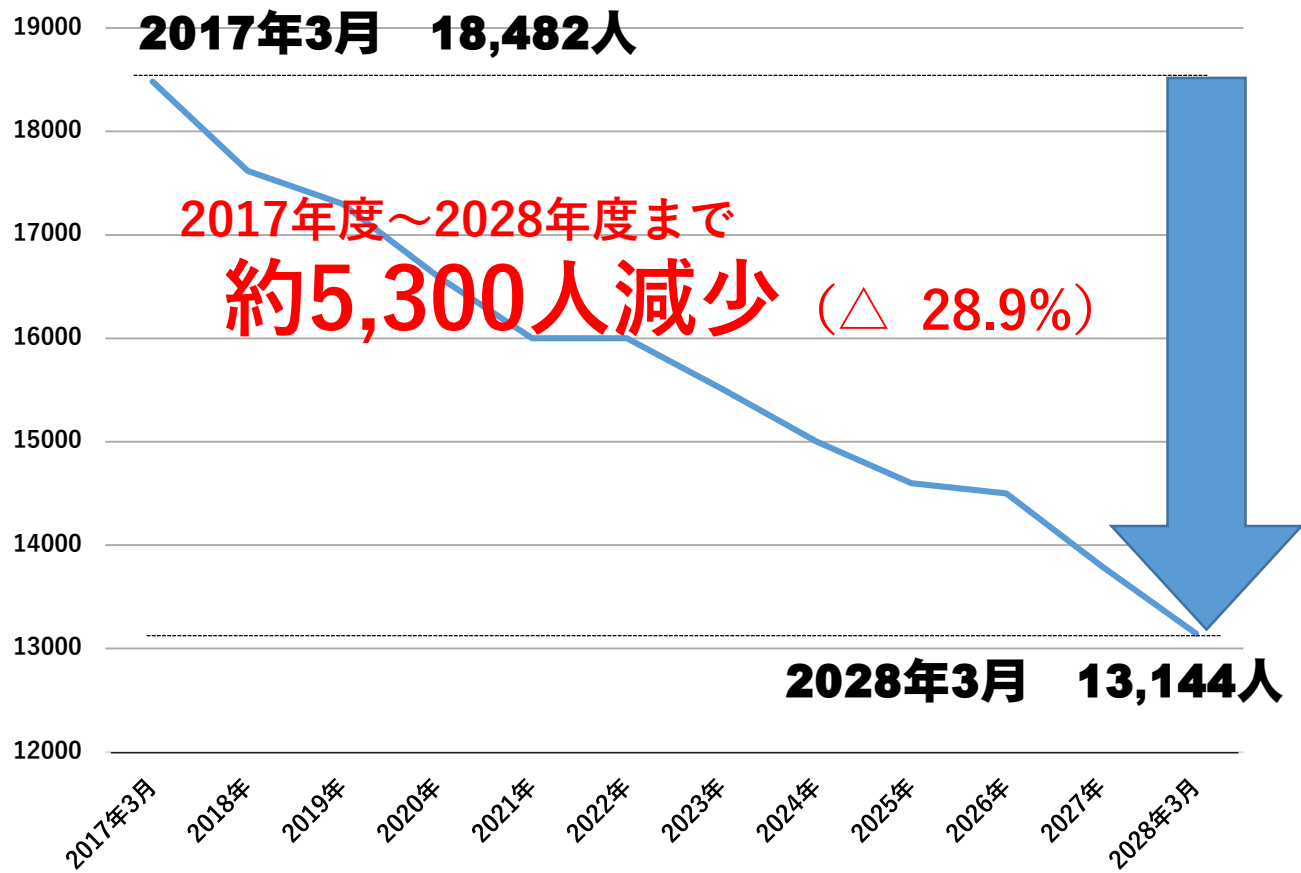
福島県教育委員会

# 本日の内容

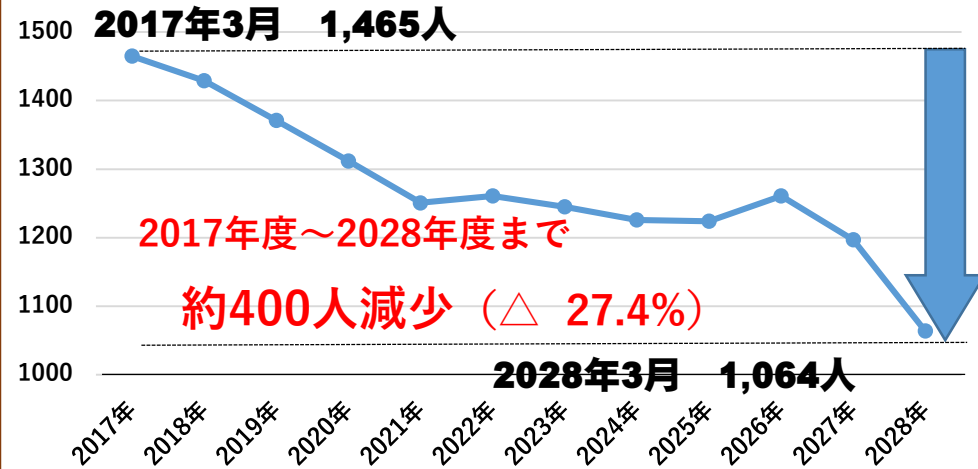
I	これまでの懇談会でいただいた御意見と 県教育委員会の見解
II	再編整備校の魅力化について
III	今後のスケジュール

# 急激な少子化

## 中学校卒業見込み者数（福島県全体）



## 中学校卒業見込み者数（県南地区）



### 学級減 の結果

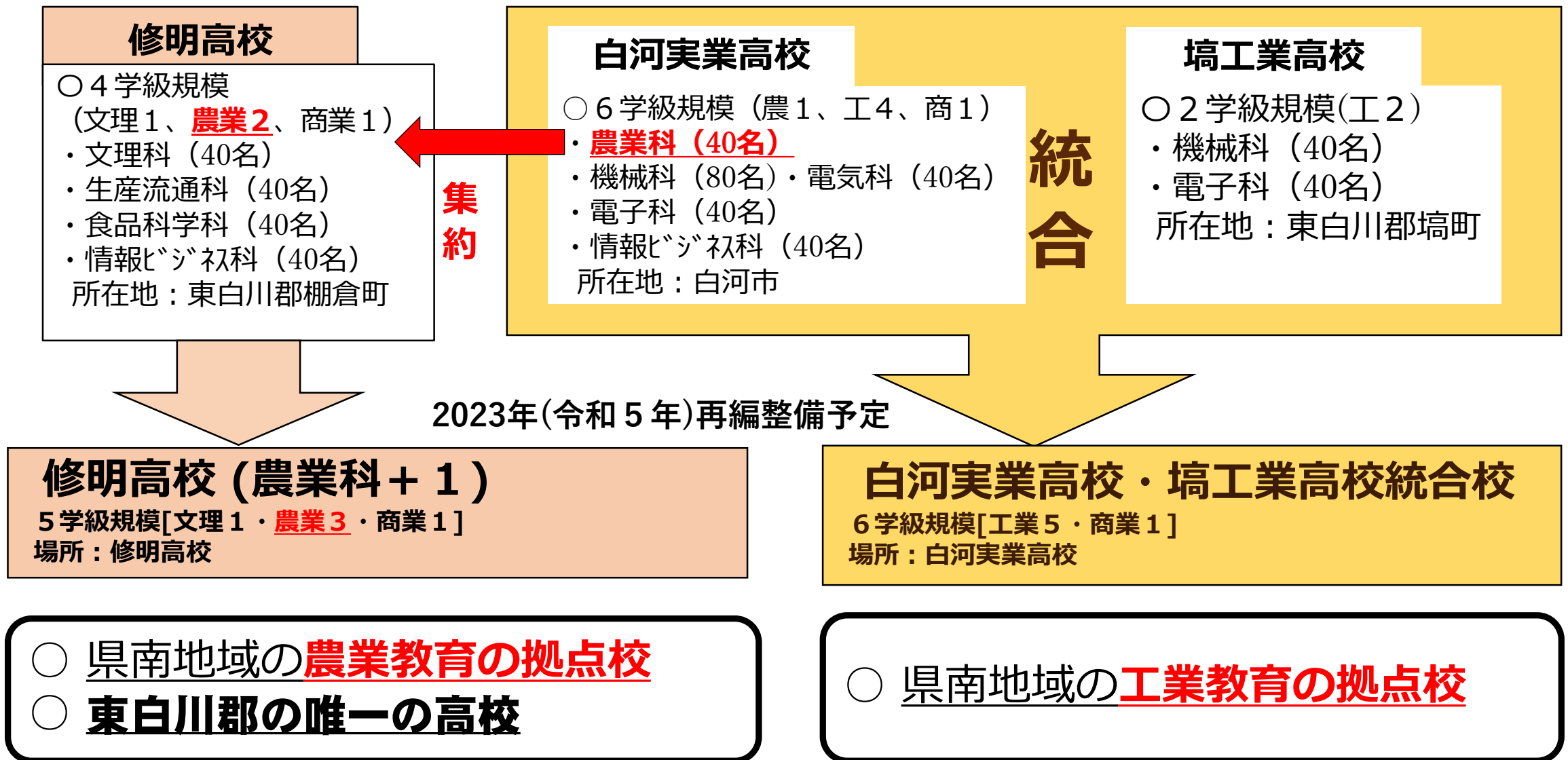
震災、原子力災害の影響で学校数は維持したまま学級数を減じてきた結果、  
1学年3学級以下**37.1%** (全国20.7%)  
2学級規模**23.5%** (全国7.5%)となった。

### 改革が 必要

- ・これまでのような学級減だけの対応では、**限界を迎えている。**
- ・現在は高等学校教育の大きな転換期でもあり、教育の質を維持・向上していくためには **高等学校改革は避けて通れない。**

### 少子化 の進行

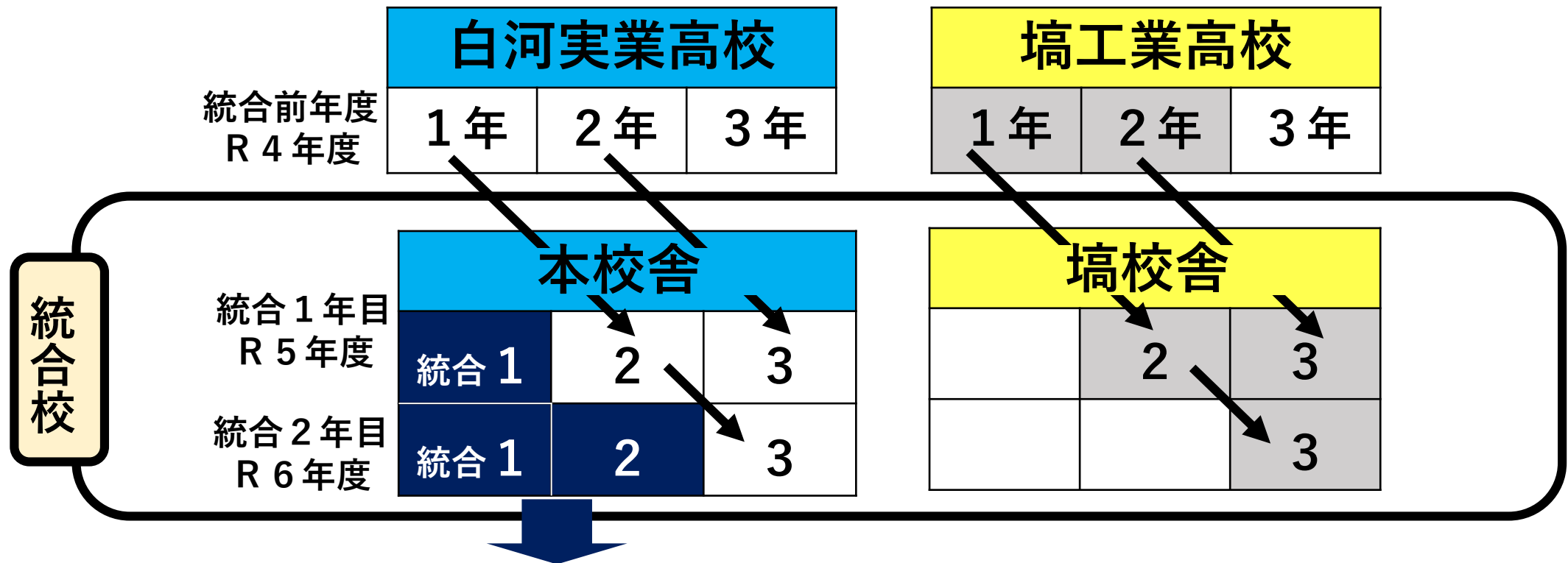
- ・中学校卒業見込者は、2017年から2028年まで県全体で**約5,300人減少**
- ・県南地区で**401人減少**



# 校舎方式のイメージ

校舎方式＝統合前に入学していたそれぞれの高校の校舎で卒業まで学ぶ方式

- ・ 統合2年目（令和6年度）まで、2つの校舎を使用。
- ・ 生徒は、入学したそれぞれの校舎で卒業まで学ぶ。



通学費の支援を実施予定：埴町などから統合校へ通学する費用の一部助成を検討中

# **I これまでの懇談会でいただいた 御意見と県教育委員会の見解**

## ◆白河実業・埴工業の統合に関する御意見

- ① 東白川郡の企業に就職する高校生がいなくなってしまうのではないか
- ② 建築科の就職状況等についての情報がほしい

## ◆農業科を修明高校へ集約することについての御意見

- ③ なぜ農業科を集約するのか

## 白河実業の現状

### ● 東白川郡の企業が進路指導室を訪問することが増えた

(統合発表後から増加)

### ● 東白川郡の企業の求人票の数が増加 R2年度44社

求人票や資料を目にした生徒が東白川郡の企業に興味を持つようになってきた。

### ● 東白川郡・石川郡の企業を受験する生徒が増加

今年度は14名の3年生が受験を希望した。  
(以前は数名程度だった)

## 企業を知る機会

### ● 「地元企業説明会」に参加

校外の説明会で東白川地区の企業に興味を持ち、その企業を受験する生徒もいる。

※ 企業説明会の開催が難しい場合であっても リモートでの説明会が可能な環境は整っている。 (モニター設置)

### ● 企業の紹介動画を視聴

総合的な学習の時間に動画を視聴し、企業の業務内容や自分の適性について考える機会を設けている。



# ① 東白川郡の企業に就職する高校生がいなくなってしまうのではないかな

## 生徒が企業を知る機会の確保

「統合してしまうと東白川郡の企業に就職する高校生がいなくなり、企業が撤退してしまう。その結果、町が衰退するのではないかな。」

これまでと同様に2年生で実施

「インターンシップ」 + 「企業を知る機会」

### 企業見学

(1年生)

#### 企業見学で企業を知る

インターンシップ（産業現場実習）の前に県南地域の企業を見学し企業について知る。仕事の内容だけでなく職業観や勤労観を学ぶ。

### 「地元企業説明会」

(1・2年生)

#### 校外の「地元企業説明会」に参加する

県南地域の企業が参加する校外の説明会に、生徒の参加を促し、企業や業種についての知識を増やす。

### 校内企業説明会

(2年生)

#### 校内での企業説明会で志望企業を検討する

校内の企業説明会に県南地域の企業に参加していただく。企業についての知識を深め受験する企業を検討する。

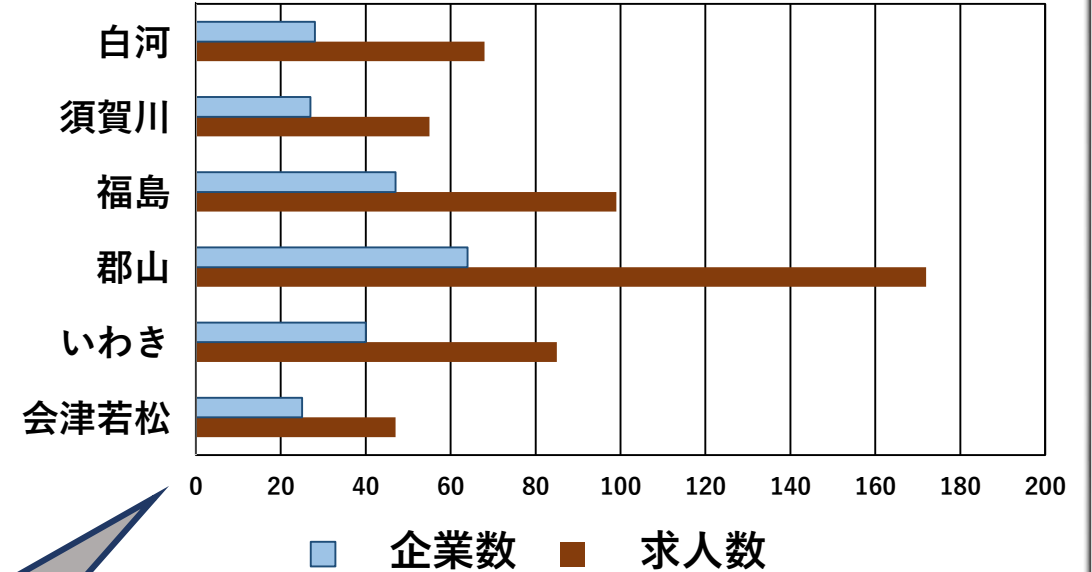
## ② 建築科に関する就職状況の情報がほしい

### 建設業許可業者数(建築工事業・土木工事業)

	建築工事業 土木工事業	建築工事業 のみ	土木工事業 のみ	合計
白河市	25	32	41	98
西白河郡	16	29	54	99
東白川郡	13	49	36	98
<b>合計</b>	<b>54</b>	<b>110</b>	<b>131</b>	<b>295</b>

福島県建設業許可業者名簿より【令和2年9月現在】

### 高卒求人状況（「建設・採掘」の職業）



### 「建設・採掘」の高卒求人状況

県中・県南地区	企業数	求人数
白河公共職業安定所	28社	68人
須賀川公共職業安定所	27社	55人

ハローワークインターネットサービスより【令和2年9月現在】

他地区	企業数	求人数
福島公共職業安定所	47社	99人
郡山公共職業安定所	64社	172人
いわき公共職業安定所	40社	85人
会津若松公共職業安定所	25社	47人

## ② 建築科の就職状況についての情報がほしい

令和元年度卒業生の進路状況

福島工業高校 建築科

郡山北工業高校 建築科

勿来工業高校 建築科

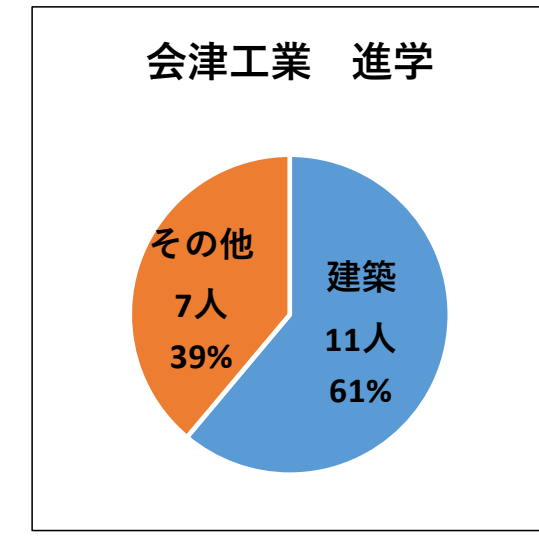
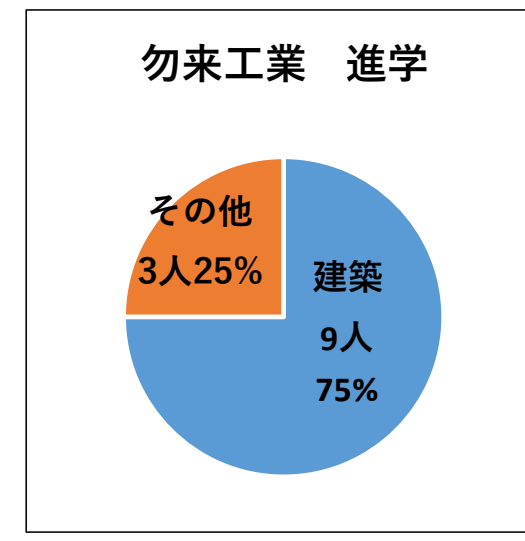
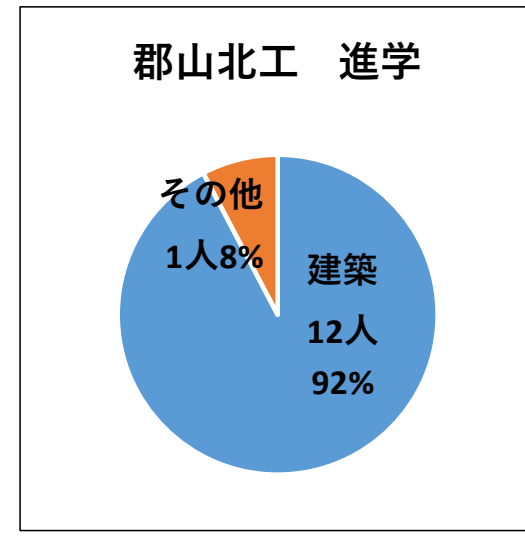
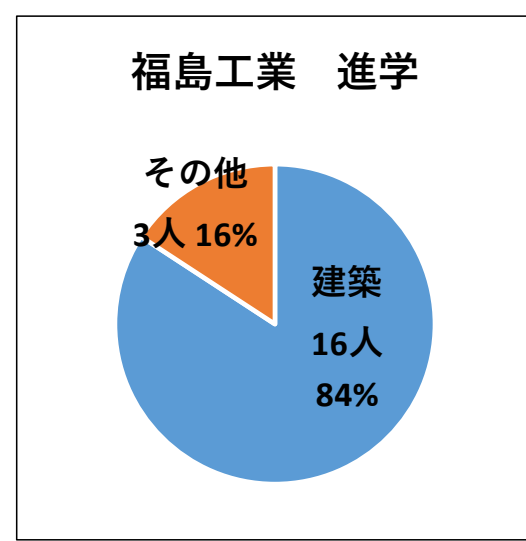
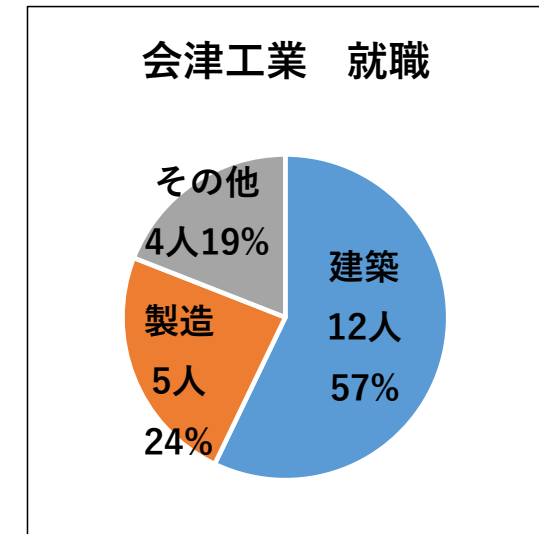
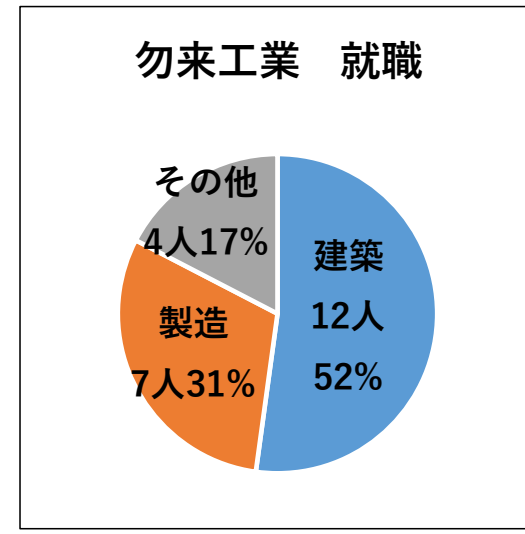
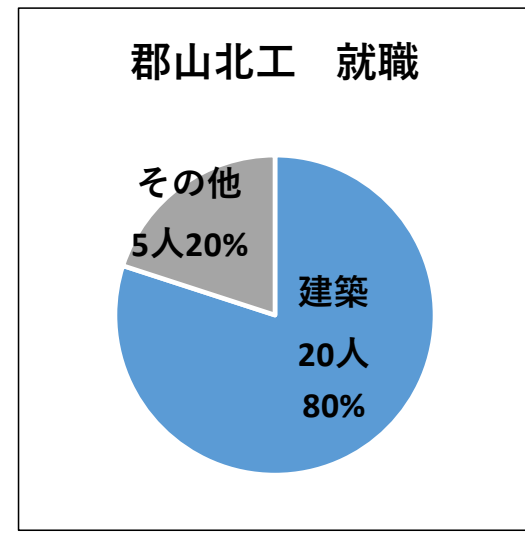
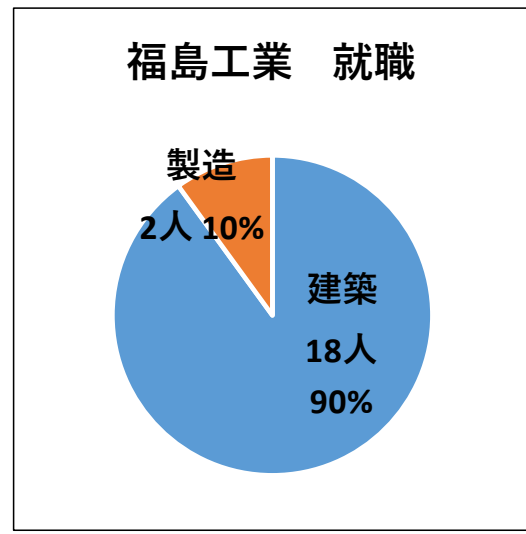
会津工業高校 建築デザイン科

39名中 就職20名 進学19名

38名中 就職25名 進学13名

35名中 就職23名 進学12名

40名中 就職21名 進学18名  
家事手伝い1名

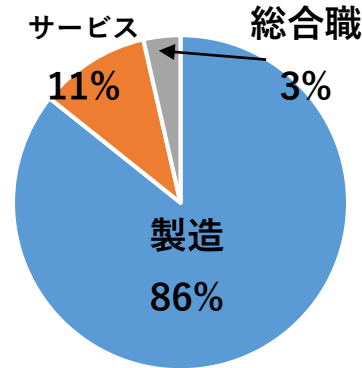


### ③ なぜ農業科を集約するのか

#### 修明高校（令和元年度農業科卒業生）

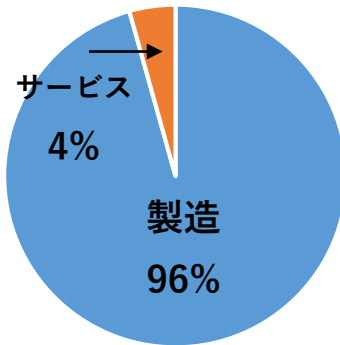
##### 生産流通科

就職	進学	合計
28	7	35
製造	サービス	総合職
24	3	1



##### 食品科学科

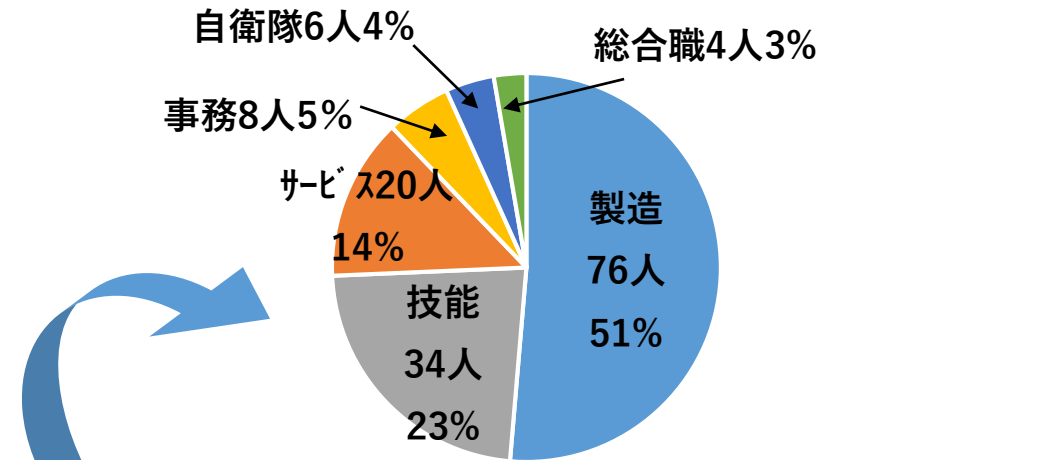
就職	進学	合計
23	7	30
製造	サービス	
22	1	



農業・食品関係  
就職 8人 (16%)    進学 2人 (14%)

### 大規模校の農業科の進路状況

#### 岩瀬農業高校（令和元年度農業科卒業生）



就職 148人	進学 64人
農業・食品関係 32人 <b>22%</b>	農業・食品関係 27人 <b>42%</b>

- ・福島さくら農業協同組合
- ・(株)南ヶ丘牧場
- ・グラントマト(株) など

- ・福島大学食農学類 2名
- ・福島県農業短期大学校 14名 など

# 農業科のある学校の再編整備

耶麻農業高校  
会津農林高校 } 統合

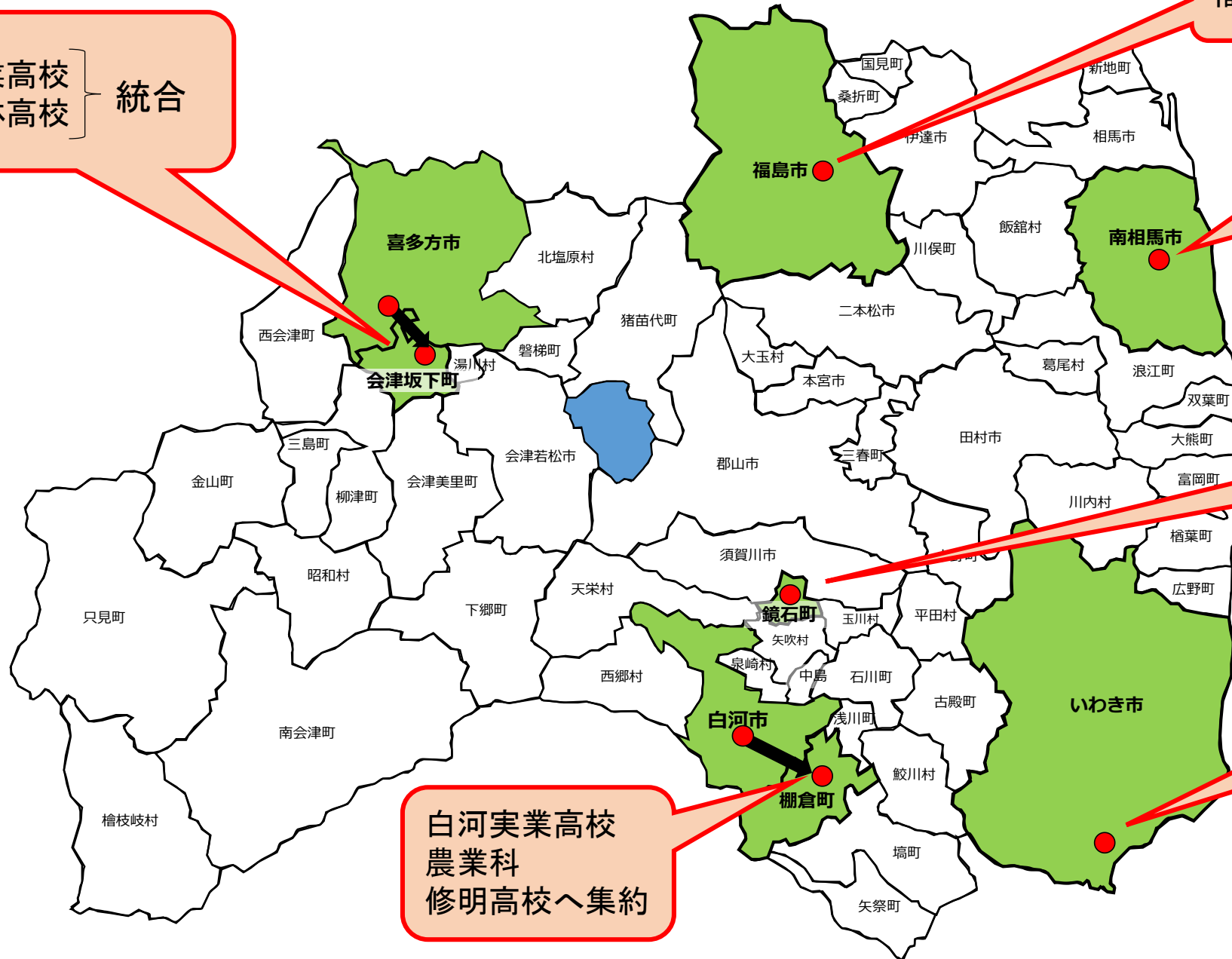
福島明成高校

相馬農業高校

岩瀬農業高校

磐城農業高校

白河実業高校  
農業科  
修明高校へ集約



R2農業科がある高校と農業学科規模

県北	福島明成	5 学科 6 クラス
県中	岩瀬農業	6 学科 6 クラス
県南	白河実業	1 学科 1 クラス
	修明	2 学科 2 クラス
会津	耶麻農業	1 学科 1 クラス
	会津農林	3 学科 3 クラス
いわき	磐城農業	4 学科 4 クラス
相双	相馬農業	学科 3 クラス

# 白河実業高校の農業科を集約するメリット

## 再編整備後の修明高校

農業生産や農業経営

食品製造や食品流通

資源活用や地域振興



農業生産に係る各分野を網羅・深化

生産

× 加工

× 販売

=

6次産業化  
を学ぶ

バ  
イ  
オ  
ノ  
ジ  
ー

林  
産  
物  
利  
用

マ  
ー  
ケ  
テ  
ィ  
ン  
グ



## 再編整備の教育的効果

農業科の生徒が増加

新たな学びに合わせた  
施設・設備の整備

農業の教員数が  
一定数確保

高度な技術に  
対応できる。

専門性が高く時代に合った学びが可能

教員

設備

## Ⅱ 再編整備校の魅力化について


# 白河実業高校・埴工業高校の統合校の魅力

SDGsを3年間通して学びます！工業科の学科横断的な学びを実施します！

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能でよりよい世界を目指す国際目標」

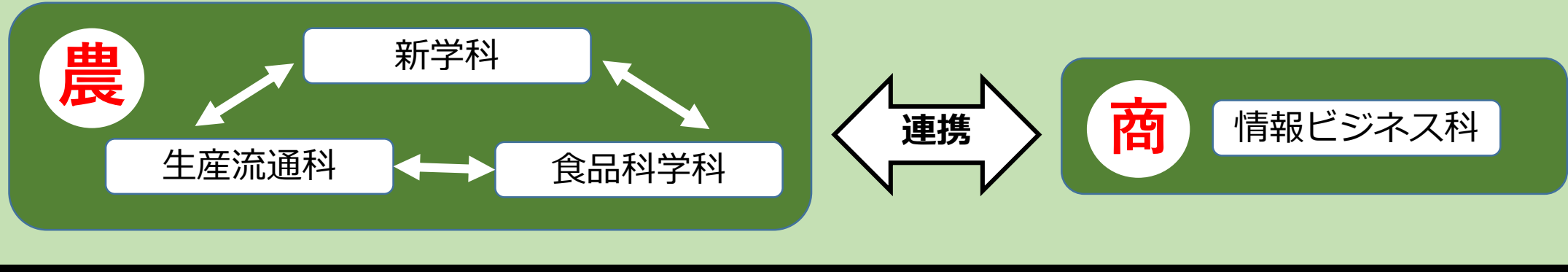
## SDGs × ものづくり



1学年 「知識」を得る	2学年 「課題」を発見する	3学年 「課題解決」に取り組む
<p><b>「SDGsとは何か」を知る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部講師によるワークショップや講演会</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><b>身近な実践例を知る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsを実践している企業を見学や、企業の方を招聘しての講演会</li> </ul> 	<p><b>実践例を見る・体験する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップで地元企業におけるSDGsの取り組みを実際に見て体験する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><b>身近な課題として捉える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップのレポートを作成し、課題を発見する。</li> <li>自分たちの力で何ができるのかを考え、「課題研究」のテーマの設定に繋げる。</li> </ul>	<p><b>課題の解決を目指す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「課題研究」の授業でテーマ毎に<b>班編制</b>をし課題解決に取り組む。</li> </ul> <p style="text-align: center;">学科横断的な学び</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(90deg);">設計</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(90deg);">ものづくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(90deg);">検証</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(90deg);">完成</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(90deg);">発表</div> </div> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 10px; margin-top: 10px;">課題研究</p>



これまでの取組を発展させて学科横断型の学びを実践します



他の学科の科目を  
選択できます

総合選択制

自分の専門分野と他分野を  
繋げる力を育てる

協力して販売を  
行います

販売実習

修明笑店から協調性と実践  
力を学ぶ (道の駅はなわ・  
みりよく満点物語 (JA直売所) など)

同じテーマで探究  
活動を行います

課題研究

共通テーマで課題の解決を  
目指し広い視野での創造力  
を育成する

## Ⅲ 今後のスケジュール

